

次世代 HERO

Next Generation's Hero



日本プロテニス協会主催
2022年度
New Generation Tennis石黒杯
U10 女子シングルス 出場

さとう りん
佐藤 凜 さん

所属クラブ「テニスNOCO」。
佐藤凜さんが公式戦に出場できるように、母親でコーチの佐藤直子さんがつくった二人のチーム。
佐藤さんの夢は、プロテニス選手！

New Generation Tennis 石黒杯北九州会場の優勝者として、全国大会に出場した川中小学校5年生の佐藤凜さんをご紹介します。佐藤さんは6歳の頃から、本格的にテニスを始め、毎日欠かさず2時間の練習をこなしています。得意のフォアハンドで相手コートにボールを打ち込み、攻めの姿勢で試合を組み立てるのが佐藤さんのプレースタイル。初出場した全国小学生テニス選手権大会山口

県予選では、小学4年生で準優勝、その実力を証明しました。

そして今回、トップジュニアが一堂に会する「石黒杯」。佐藤さんは熊本・北九州会場の2つにエントリーしました。熊本で負けてしまった対戦相手にも、北九州では見事勝利。「熊本大会（準優勝）で全国出場が決まっていたし、私は挑戦者だから思いっきりプレーできました」と佐藤さん。全国大会を経験し、夢に向かってさらに突き進みます。



▲九州地区大会(北九州会場)で優勝。



ふく給食の日

今と未来をつむぐ 子育て支援



市長コラム / 希望の風 市長の部屋

皆さんこんにちは！ 前田晋太郎です。突然ですが皆さん、下関市の現在の最大の課題とは、一体何だと思えますか？ 「さまざまあって一つには絞れない」そう考える方が多いと思います。しかし、一つだけ挙げよと言われれば、それはやはり「人口減少」であり「少子化社会」というテーマに行き着くと思います。

私が生まれた昭和51年の市の出生数は4720人でしたが、令和3年は1458人と激減しています。まちを元気に持続させていくためにも、子育て支援により一層力を入れていくことが必要であると国レベルで叫ばれているのです。

そこで、下関市は今年度からさらに思い切った政策転換を行います。まず、小中学生の医療費を全額無償化します。そして、高校生は入院の費用を全額無償化します。また、物価高騰で苦しんでいる子育て家庭を応援するために、給食費を半額以上市が負担することとしました。

この負担の財源はポータルレースの収益を充てることとします。しかしポータルレース頼りばかりでもいけませんので、職員の定員を調整するなど財政改革にもしっかりと取り組んでいくことで、未来に向けて持続可能な子育て支援を続けていきたいと考えています。

下関の未来を担う大切な子どもたちの成長を、皆さんで応援していただけると幸いです。温かいご理解よろしくお願いたします。